

コロナ禍における教務部の対応と取り組み

教務部 横井 健

コロナ禍の影響に関する教務部としての対応

昨年 1 月に日本国内で初めて検出された新型コロナウイルスの感染拡大により、日本社会は大きな影響を受けた。教育現場も例外ではなく、2 月末の安倍晋三内閣総理大臣（当時）による臨時休校措置の要請、4 月の緊急事態宣言に伴う休校措置の延長を受け、3 月 2 日から 5 月末まで生徒が登校できない状況が続いた（厳密にいうと 4 月当初 3 日間のみ登校できた）。休校期間から段階的な授業再開に至るまでの間、本校では新入生を含めた生徒の学びを補償すべく、校長の指導の下、学校全体で様々な方法を模索し、実践した。教務部の対応と取り組みを以下に述べる。

(1) 在校生の成績処理・教科書販売・課題配布について

3 月 2 日に本校の卒業証書授与式が行われ、通常授業を受ける対象は 1・2 年生だけとなった。通常であれば、3 月 19 日の終業式まで授業が行われ、通知表が配付され、春休みの課題が与えられるはずであった。しかし、昨年度については、学年末考査は 2 月末に終わっていたものの、考査結果は返却されておらず、生徒の確認を得ないままの成績処理を余儀なくされる状態になった。また、次年度に向けての教科書・副教材の販売ができず、休校期間に相当するだけの課題も与えられていない状況であった。そのため、生徒の安全に配慮し、クラスごとに時間を変えた分散登校による登校日を設けることとした。なお、当日は考査返却・教科書販売・課題配布の 3 点のみに対象を絞り、短時間で終えることとした。出校日の連絡については、Classi 配信および HP 掲示で行った。連絡について「見ました」ボタンが押されていない者に担任（または副担任）から電話連絡を行い、伝達漏れのないように配慮した。また、考査については点数の訂正や質問の受け付ける時間を確保できないことから、各教科に対して、答案のスキャンを依頼し、データを教務部で一括管理することとした。

(2) 休校期間中の学習支援について

在校生登校日に配布した課題について、単に分量を追うことにならないよう、概ね週単位で計画的に実施でき、学びの効果が期待できる内容とすることを各教科に依頼し、学年ごとに取りまとめてもらうようにした。追加の場合は Classi を活用しつつ、連絡漏れのないように配慮を依頼した。また、全員の学習を支援すべく、課題の回収・確認を必ず行うように依頼した。一方で、Zoom での ST が健康観察も兼ねて行われるようになり、学校らしさが維持できるようにもなった。各学年から Zoom による学習動画の配信がはじめられ、新たな学習環境を提供した（詳細は各学年の頁を参照）。

(3) 段階的な学校再開に向けて

5 月 14 日の緊急事態宣言解除（一部地域を除く）を受けて、学校の再開に向けての準備が始まった。3 年生を優先的に登校させ、授業を行い、課題を確認し、解決を図った上で 1・2 年生を受け入れると

いう方法をとることとした。5月25日(月)～6月5日(金)の校時については午前と午後の分散登校を以下のような日程で行った。

○午前登校の生徒

8:50 ST

9:05～9:50 1限

10:05～10:50 2限

11:05～11:50 3限

11:50～ 帰り ST

○午後登校の生徒

12:30 ST

12:45～13:30 4限

13:45～14:30 5限

14:45～15:30 6限

15:30～ 帰り ST

授業の実施に当たっては、「3つの条件（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声）が同時に重なる場を避けることはもちろんのこと、各学校においては、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策及び学校医や学校薬剤師と連携した保健管理体制の整備などの万全な感染症対策をお願いします」（文部科学省通知 4月23日）、「専門家会議が3月19日に示した提言2では、この『3つの条件が同時に重なる場』を避けるため、①換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底 ②多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮 ③近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える」（3月24日 ガイドライン）といった点を踏まえ、授業における集団感染リスクへの対応について保健部と連携して職員間の周知徹底を図った。授業担当者には、教室の換気を徹底すること、朗読や発言をさせる際は生徒同士の距離に配慮すること、隣席同士の話し合いは不可、机間巡視は極力無言で行うこと、プリント類の配付・回収にあたっては、適宜、手指消毒を促すこと、タブレットや書籍、チョークなどの共有は避けること、適宜、手指消毒を促すことを依頼した。

また、時間割について、消毒の時間を確保するため、同じ座席に他の生徒が触れないよう、移動教室に配慮した時間割に組み替えた。

6月1日から5日まで1・2年生も午前・午後の分散登校。6月8日から26日まで45分の短縮授業を行い様子を見つつ、6月29日（月）から50分授業を再開した。